

行政調査報告書「市民文教常任委員会」

令和3年7月28日～30日

■福岡県福岡市 『福岡市博物館の展示について』



平成25年に常設展示室のリニューアルがされた。半強制導線から強制導線へ変更している。リニューアル前から理想とする順路についての問い合わせが多く、展示自体を理解させるのに有効であるとわかった。特別展の予算については展覧会ごとに実行委員会を形成し、メディアが75%、市負担金が25%という形。本市の市費のみの展示との違いを痛感した。

■熊本県人吉市 『豪雨災害後の復興に向けた取組について』

昨年の球磨川の氾濫は川の蛇行が大きな要因であり、矢作川も蛇行しており球磨川のような被害が発生する可能性がある。被災者の動向、人的・物的被害、文化財への影響は数値では読み取れない深刻さを目の当たりにした。

人的支援が今後の復興に影響を及ぼすと考ええる。平時からの人的交流、自治体間のネットワークの構築が重要だと思う。



■熊本県益城町 『熊本地震後の復興に向けた取組について』



「TKB48」というトイレ・キッチン(食事の提供)・ベッド(居住空間)を48時間以内に整備するという避難所運営の目標は本市にも率先して導入するべきものと感じた。

5年前の被災直後の調査では子どもの心のケアが大切だと言われていた。防災学習や心のサポート授業等の丁寧な取り組みにより、安心感の醸成につながり前向きな心が生まれている。